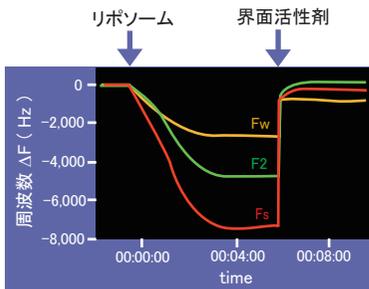


リポソームの吸着と破碎

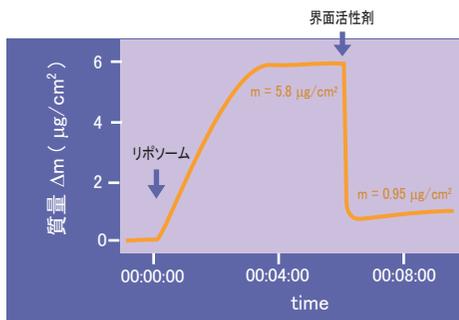
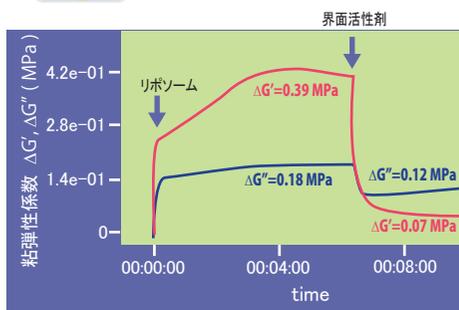
方法

1. 測定溶液 500 μ L を入れ、測定開始
2. SUV リポソーム 5 μ L を添加
3. 界面活性剤溶液 5 μ L を添加

結果



解析



リポソームを金電極に添加すると、 F_w が大きく減少したため、粘弾性を持っていると考えられ、リポソームが形状を保ったまま吸着したと予想された。その後、界面活性剤を添加すると、各周波数が増加したため、リポソームが破碎されたと予想された。

周波数データを解析した結果、粘弾性係数 G' 、 G'' が得られた。このことより、吸着物が粘弾性を持っていることがわかり、リポソームが形状を保ったまま吸着したことが確認できた。

さらに、界面活性剤を添加すると、 G' 、 G'' が大きく減少し、また、質量も減少した。これより、粘弾性を持っているリポソームが破碎され、溶液中に分散したことが確認できた。

応用

1. 脂質・リポソームの固体表面への吸着挙動の観察
2. 脂質膜の構造変化